



【報道関係各位】

2019 年 4 月 26 日

Tranzax 株式会社

Tranzax、横浜銀行と業務提携契約締結

受注時点での資金調達を可能にする「P0 ファイナンス[®]」

地方銀行で初の導入

金融と IT を融合した Fintech ベンチャーである Tranzax 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：大塚博之）と、地方銀行最大手の横浜銀行（本店：神奈川県横浜市、代表取締役頭取：大矢恭好）は、業務提携契約を締結し、横浜銀行は Tranzax 社の電子記録債権を用いた「P0（Purchase Order）ファイナンス[®]」（特許第 6140909 号、第 6427247 号）の取り扱いを開始しました。これにより、横浜銀行は地方銀行初の本サービス導入金融機関となりました。

P0 ファイナンス[®]は、受注したという事実とその内容を電子記録債権化することで、受注時点からの譲渡担保融資を可能にするものであり、受注企業（主に中小零細企業や個人事業主）にとっては、受注時点からの資金調達をしやすくなります。

発注企業にとっては、下請け先の支援策や、仕入先の確保策として使うことができ、また、下請け先や仕入先の倒産防止策にもなります。

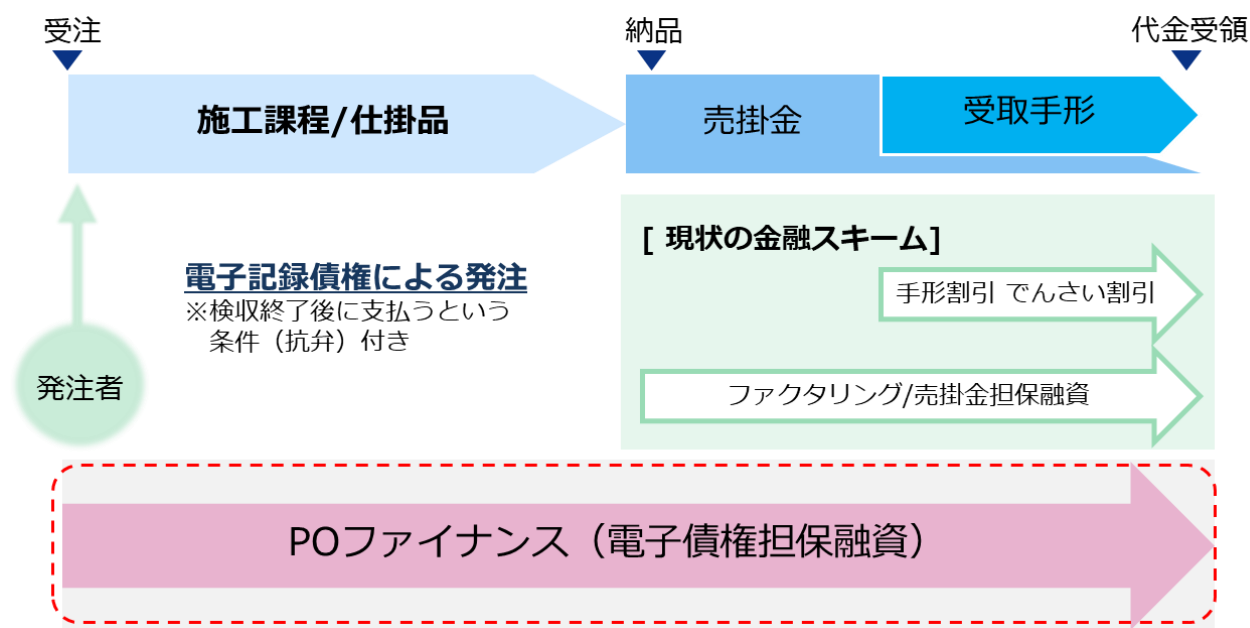
金融機関にとっては、商流の最初（受発注）から最後（代金決済）までを「見える化」でき、また、融資金の回収を、貸出先（＝受注企業）を通さず発注企業から直接回収できるため、幅広い資金ニーズに対応でき、一層の地域経済活性化につながります。

当社は、今後も FinTech の先端企業として新たな金融サービスを実現し、守り一辺倒だった「ファイナンスを、チャンスに」変えることができる、日本の金融インフラの一翼を担ってまいります。

■『P0 ファイナンス®』について

Tranzax の『P0 ファイナンス®』は、受注したという事実とその内容を電子記録債権化し、受注時点からの譲渡担保融資を可能とする、今までにない新しいサービスです。

【P0 ファイナンス®の概要図】



■提携金融機関の情報

会社名 : 株式会社 横浜銀行
 代表者 : 代表取締役頭取 大矢 恭好
 本店 : 神奈川県横浜市西区みなとみらい 3-1-1
 TEL : 045-225-1111（代）
 事業内容 : 預金、融資、内・外国為替、そのほか金融業務全般
 預金残高 : 13 兆 7,729 億円（単体）／13 兆 7,195 億円（連結）
 貸出金残高 : 10 兆 7,541 億円（単体）／10 兆 6.946 億円（連結）
 ホームページ : <https://www.boy.co.jp/>



■Tranzax 株式会社について

Tranzax 株式会社は、日本の活力を金融面で支えることをめざしています。電子記録債権を活用し企業活動と商流を見える化することで、利便性が高く革新的なサービスを提供している会社です。

会社名 : Tranzax 株式会社
設立 : 2009 年 7 月 7 日
資本金 : 1,906,775,000 円／資本準備金 1,438,600,000 円
代表者 : 代表取締役社長 大塚 博之
所在地 : 東京都港区虎ノ門 1-12-9 スズエ・アンド・スズエビル 6 階
グループ会社 : Tranzax 電子債権株式会社
株式会社電子債権応用技術研究所
ホームページ : <https://www.tranzax.co.jp/>